

令和5年度

全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果

令和6年2月

砂川市教育委員会

1 調査の目的

子どもの体力が低下している状況に鑑み、砂川市が全国的な状況との関係において児童生徒の体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、各学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣、食習慣等を把握し、学校における体育・健康に関する指導などの改善に役立てる。

2 調査の名称：「令和5年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査」

3 参加状況：砂川市内小学校第5学年【5校：95名（男子54名、女子41名）】

砂川市内中学校第2学年【1校：101名（男子57名、女子44名）】

4 調査事項

(1) 児童生徒に対する調査

ア 実技に関する調査（測定方法は新体力テストと同様）

- ・小学校調査では、以下の種目を実施する。

〔8種目〕 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

- ・中学校調査では、以下の種目を実施する。

〔8種目〕 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ハンドボール投げ

体力テスト種目		単位	体力要素	測定
①	握力	kg	筋力	左右握力の平均値。
②	上体起こし	回	筋パワー・筋持久力	30秒間に上体を起こした回数。
③	長座体前屈	cm	柔軟性	長座位で前屈したときの両手の前方への移動距離。
④	反復横とび	点	敏捷性	20秒間に両脚で左右側方に反復跳躍した回数。
⑤	20mシャトルラン	回	全身持久力	20m走行の折り返し回数。
⑥	50m走	秒	疾走能力	50mの疾走時間。
⑦	立ち幅とび	cm	筋パワー・跳躍能力	両脚で前方へ跳躍した直線距離。
⑧	ソフトボール投げ【小】	m	巧緻性・投球能力	ソフトボールを遠投した距離。
	ハンドボール投げ【中】	m	巧緻性・投球能力	ハンドボール2号球を遠投した距離。

イ 質問紙調査（児童生徒の運動への取組や運動習慣等に関する質問紙調査）

(2) 学校質問紙調査

ア 学校の体力向上に関する取組の調査

イ 学校の実施状況に関する調査

(3) 教育委員会に対する質問紙調査

5 調査の方法

悉皆調査

6 調査実施日

令和5年4月から令和5年7月末までの期間で実施

7 調査の実施体制

各学校の校長を調査責任者として、設置管理者である砂川市教育委員会の指示、指導、助言等に基づき実施する。

8 調査についての砂川市教育委員会の基本的な姿勢

砂川市教育委員会は、文部科学省が示す本調査の目的・意義を認め、定められた方法に従い、市内全小・中学校で実施する。

- (1) 各学校では、児童生徒の体力・運動能力、運動習慣等の状況を把握し、授業改善や生活習慣等の改善に向け、調査結果の積極的な活用を図る。
- (2) 結果の公表について砂川市では、調査の結果により学校間の序列化や比較を行うものではなく加えて教育委員会が個別の小・中学校の調査結果を一括公表するものではないと判断し、これまで同様、実技に関する調査結果の数値による公表はせず、正確な数値が特定されないグラフや言葉による公表とする。
- (3) この調査は、通常の教育活動の一環として実施するものである。
- (4) 文部科学省は、都道府県教育委員会が作成する報告書の中で、各市町村の同意を得て、各市町村単位の結果を公表することを可能としたことを受け、北海道教育委員会が作成する報告書の中で結果公表について、砂川市は同意することとした。
- (5) 本調査により測定できる体力等は特定の一部であり、学校における教育活動の一側面を示すものである。

9 用語等の説明

(1) 体力合計点

8種目の体力テストの成績を1から10に得点化して総和した体力テストの合計得点（満点は80）

(2) 体力総合評価

8種目の体力テストを全て実施した場合、体力テスト合計得点の良い方からABCDEの5段階で評定した体力の総合評価

・A：65以上 ・B：58～64 ・C：50～57 ・D：42～49 ・E：41以下

(3) T得点

全国平均に対する相対的な位置を表す数字（全国を50とした時の偏差値）

参 考 資 料

小学校男子種目別得点表

得点	握 力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m 走	立ち幅とび	ソフトボール投げ
10	26kg 以上	26 回以上	49cm 以上	50 点以上	80 回以上	8.0 秒以下	192cm 以上	40m 以上
9	23～25	23～25	43～48	46～49	69～79	8.1～8.4	180～191	35～39
8	20～22	20～22	38～42	42～45	57～68	8.5～8.8	168～179	30～34
7	17～19	18～19	34～37	38～41	45～56	8.9～9.3	156～167	24～29
6	14～16	15～17	30～33	34～37	33～44	9.4～9.9	143～155	18～23
5	11～13	12～14	27～29	30～33	23～32	10.0～10.6	130～142	13～17
4	9～10	9～11	23～26	26～29	15～22	10.7～11.4	117～129	10～12
3	7～8	6～8	19～22	22～25	10～14	11.5～12.2	105～116	7～9
2	5～6	3～5	15～18	18～21	8～9	12.3～13.0	93～104	5～6
1	4kg 以下	2 回以下	14cm 以下	17 点以下	7 回以下	13.1 秒以上	92cm 以下	4m 以下

小学校女子種目別得点表

得点	握 力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m 走	立ち幅とび	ソフトボール投げ
10	25kg 以上	23 回以上	52cm 以上	47 点以上	64 回以上	8.3 秒以下	181cm 以上	25m 以上
9	22～24	20～22	46～51	43～46	54～63	8.4～8.7	170～180	21～24
8	19～21	18～19	41～45	40～42	44～53	8.8～9.1	160～169	17～20
7	16～18	16～17	37～40	36～39	35～43	9.2～9.6	147～159	14～16
6	13～15	14～15	33～36	32～35	26～34	9.7～10.2	134～146	11～13
5	11～12	12～13	29～32	28～31	19～25	10.3～10.9	121～133	8～10
4	9～10	9～11	25～28	25～27	14～18	11.0～11.6	109～120	6～7
3	7～8	6～8	21～24	21～24	10～13	11.7～12.4	98～108	5
2	4～6	3～5	18～20	17～20	8～9	12.5～13.2	85～97	4
1	3kg 以下	2 回以下	17cm 以下	16 点以下	7 回以下	13.3 秒以上	84cm 以下	3m 以下

中学校男子種目別得点表

得点	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m 走	立ち幅とび	ハンドボール投げ
10	56kg 以上	35 回以上	64cm 以上	63 点以上	125 回以上	6.6 秒以下	265cm 以上	37m 以上
9	51～55	33～34	58～63	60～62	113～124	6.7～6.8	254～264	34～36
8	47～50	30～32	53～57	56～59	102～112	6.9～7.0	242～253	31～33
7	43～46	27～29	49～52	53～55	90～101	7.1～7.2	230～241	28～30
6	38～42	25～26	44～48	49～52	76～89	7.3～7.5	218～229	25～27
5	33～37	22～24	39～43	45～48	63～75	7.6～7.9	203～217	22～24
4	28～32	19～21	33～38	41～44	51～62	8.0～8.4	188～202	19～21
3	23～27	16～18	28～32	37～40	37～50	8.5～9.0	170～187	16～18
2	18～22	13～15	21～27	30～36	26～36	9.1～9.7	150～169	13～15
1	17kg 以下	12 回以下	20cm 以下	29 点以下	25 回以下	9.8 秒以上	149cm 以下	12m 以下

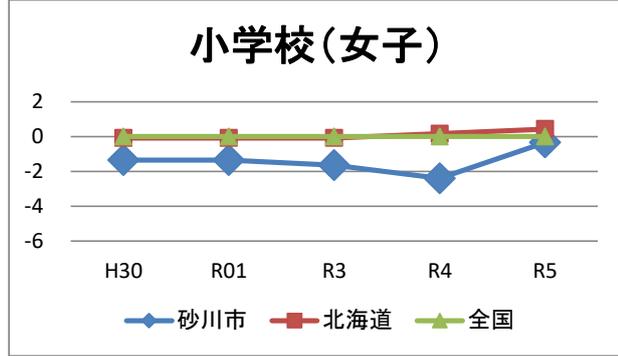
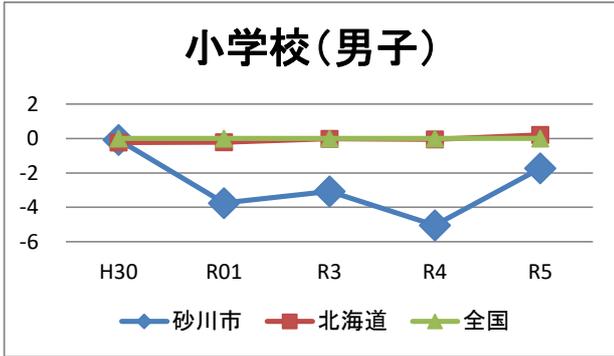
中学校女子種目別得点表

得点	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m 走	立ち幅とび	ハンドボール投げ
10	36kg 以上	29 回以上	63cm 以上	53 点以上	88 回以上	7.7 秒以下	210cm 以上	23m 以上
9	33～35	26～28	58～62	50～52	76～87	7.8～8.0	200～209	20～22
8	30～32	23～25	54～57	48～49	64～75	8.1～8.3	190～199	18～19
7	28～29	20～22	50～53	45～47	54～63	8.4～8.6	179～189	16～17
6	25～27	18～19	45～49	42～44	44～53	8.7～8.9	168～178	14～15
5	23～24	15～17	40～44	39～41	35～43	9.0～9.3	157～167	12～13
4	20～22	13～14	35～39	36～38	27～34	9.4～9.8	145～156	11
3	17～19	11～12	30～34	32～35	21～26	9.9～10.3	132～144	10
2	14～16	8～10	23～29	27～31	15～20	10.4～11.2	118～131	8～9
1	13kg 以下	7 回以下	22cm 以下	26 点以下	14 回以下	11.3 秒以上	117cm 以下	7m 以下

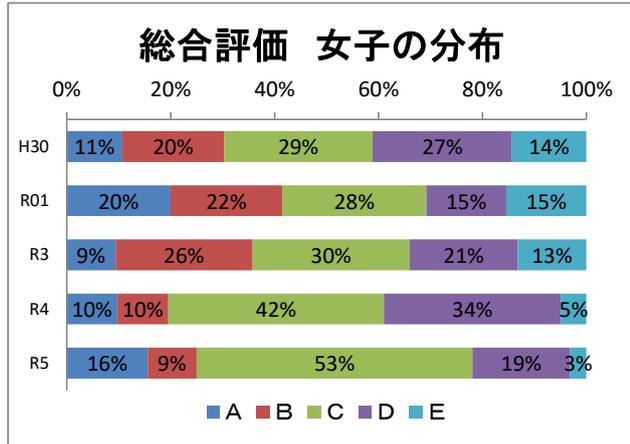
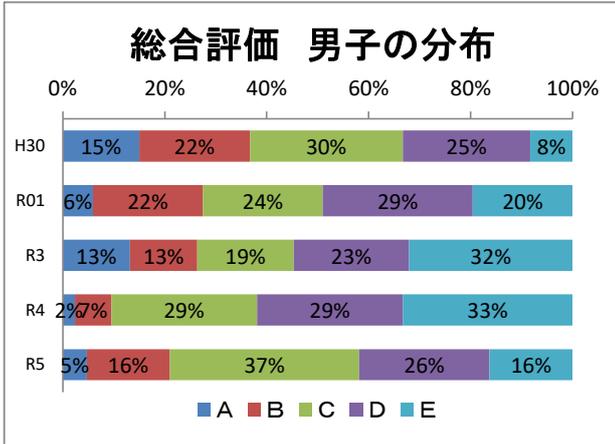
小学生の体力【学校数5校：95名（男子54名、女子41名）】

※数値は少数第1位を四捨五入

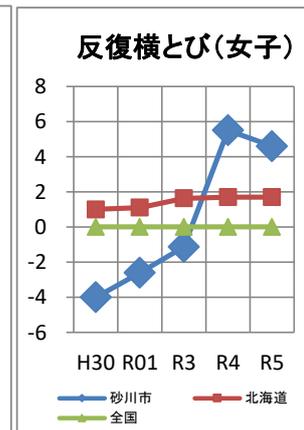
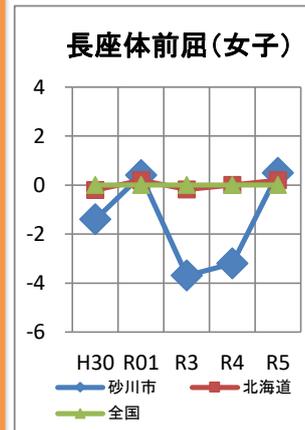
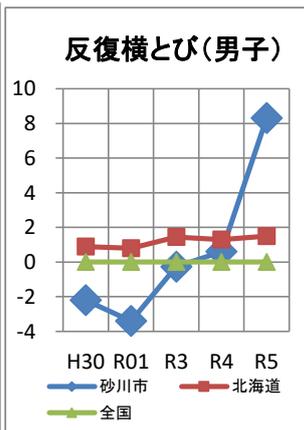
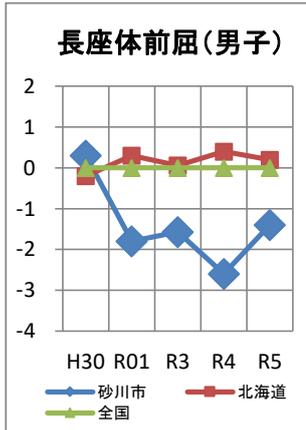
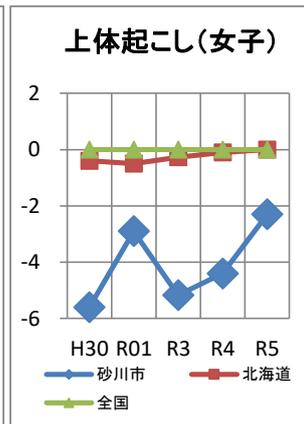
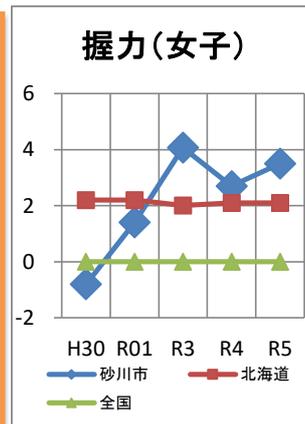
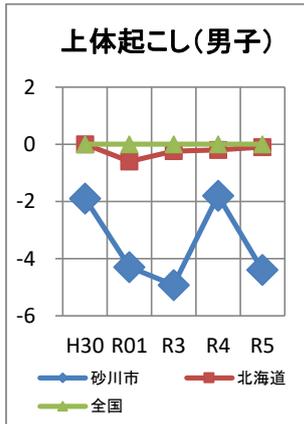
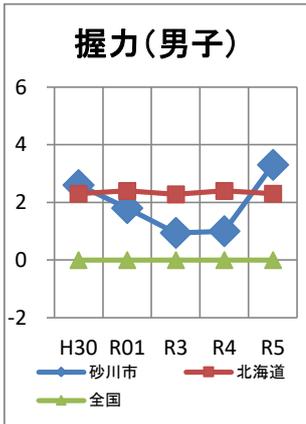
1 体力の合計点【全国平均値との差：経年推移】

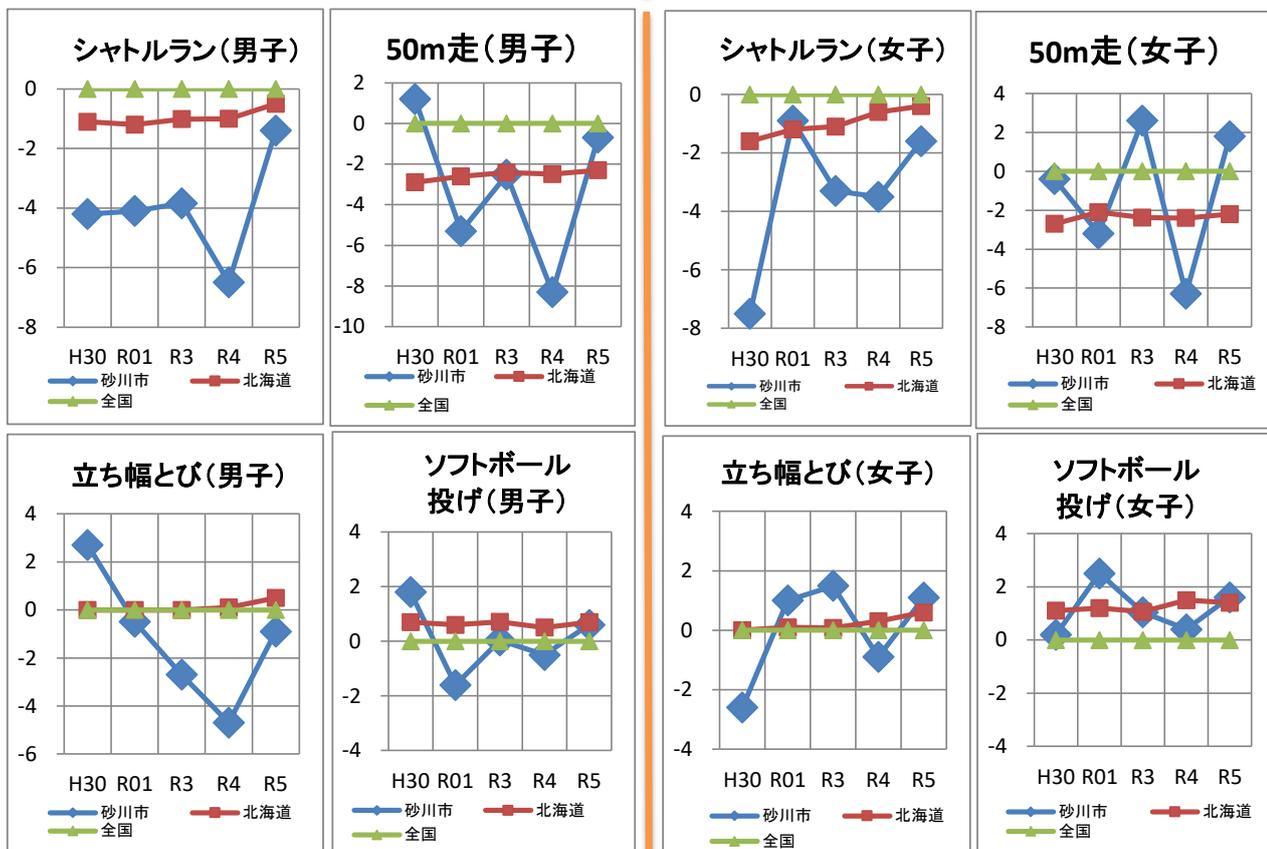


2 市内児童の体力総合評価【5段階評価：経年推移】

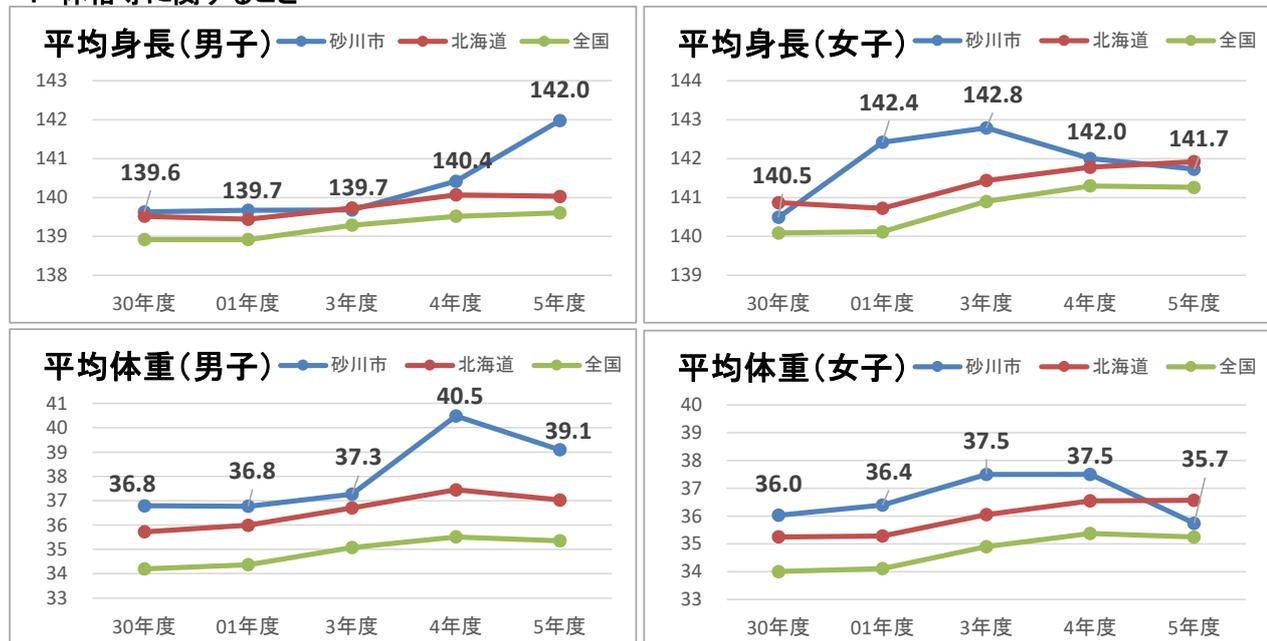


3 各種目の状況【全国を50とした時の偏差値(T得点)との差：経年推移】





4 体格等に関すること



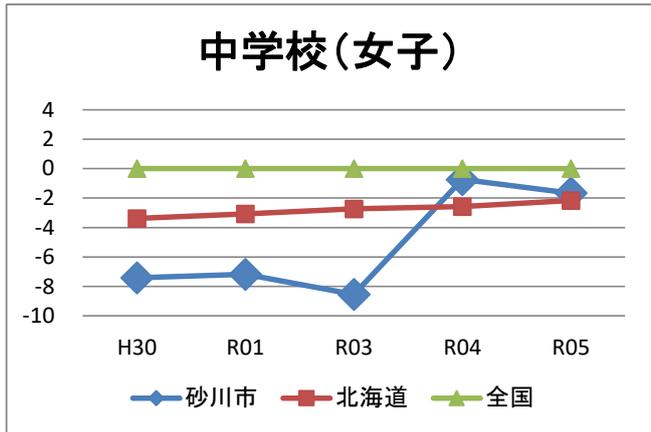
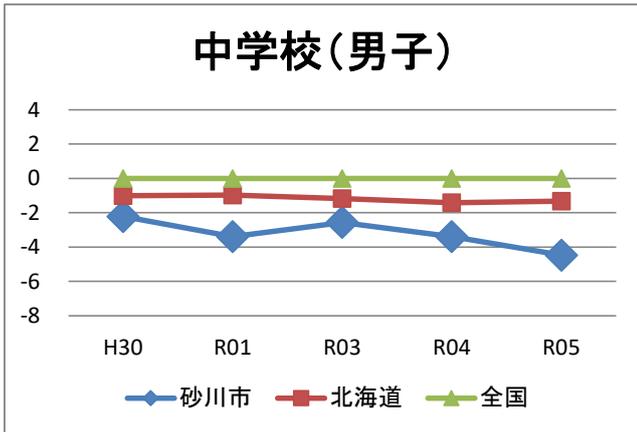
5 分析結果と今後に向けて

- 体力の合計点では、男女とも全国平均を下回ったが、いずれも改善傾向が見られた。特に女子は全国平均との差が縮まってきている。また、5段階評価では、男女ともにE・Dの割合が減少し、Cの割合が多くなっている。
- 男子については、「握力」「反復横とび」「ソフトボール投げ」が全国平均を上回り、特に「反復横跳び」で顕著な伸びが見られた。他の種目は全国平均を下回っているものの、「上体起こし」以外の種目では改善傾向が見られている。
- 女子については、「上体起こし」と「シャトルラン」以外の種目で全国平均を上回り、特に、「長座体前屈」と「50m走」に顕著な伸びが見られた。また、全国平均を下回った種目においても数値結果が上昇しており、全体的な改善傾向が見られている。
- 全体的には、筋持久力が必要となる「上体起こし」に課題が見られていることから、外部講師を活用した体づくり運動を推進するなどの工夫や、毎時間の授業の中に体づくり運動を位置付けるなど、継続的な取組が必要がある。

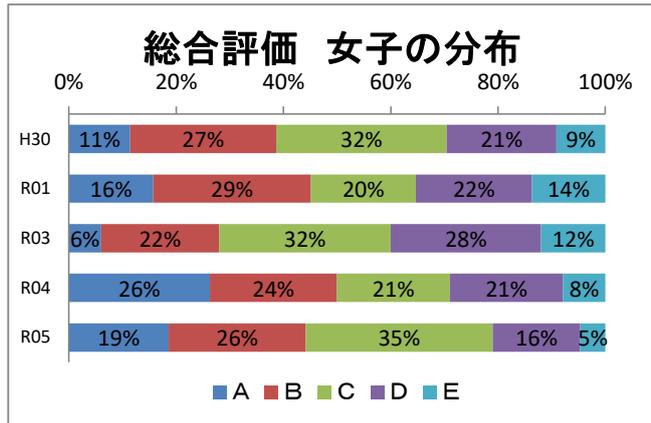
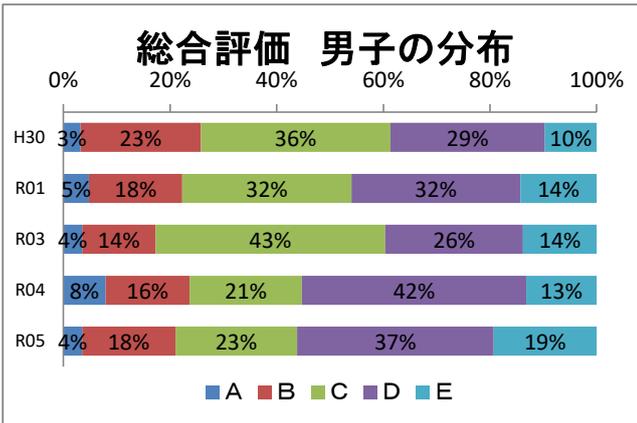
中学生の体力【学校数1校：101名（男子57名、女子44名）】

※数値は少数第1位を四捨五入

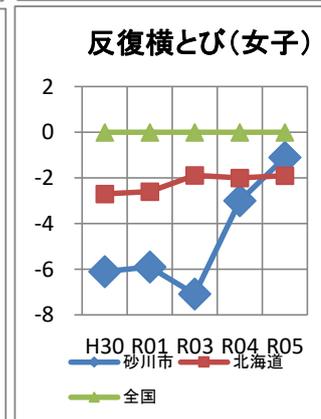
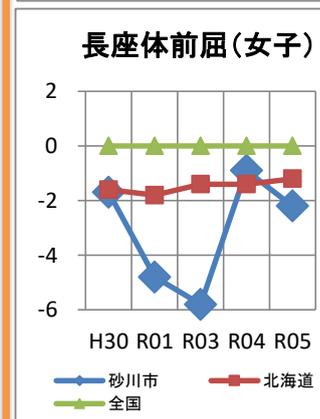
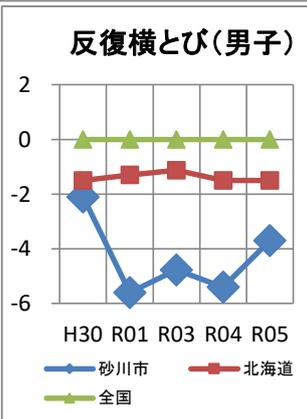
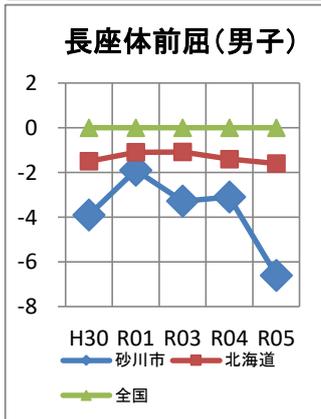
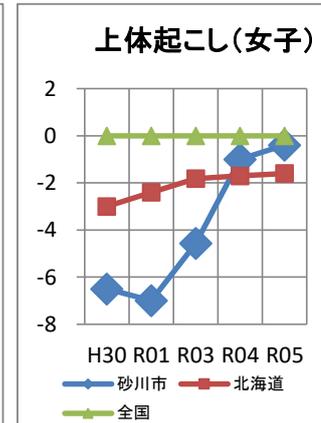
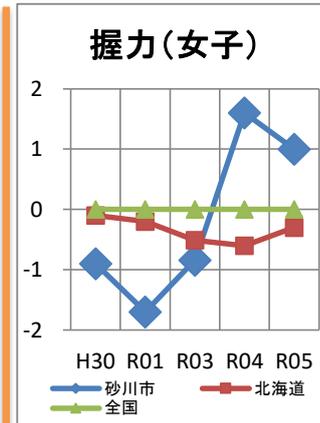
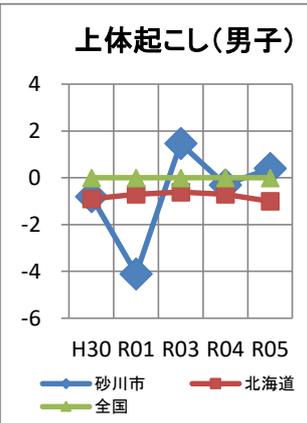
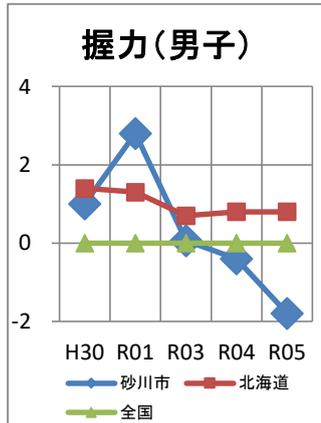
1 体力の合計点【全国平均値との差：経年推移】

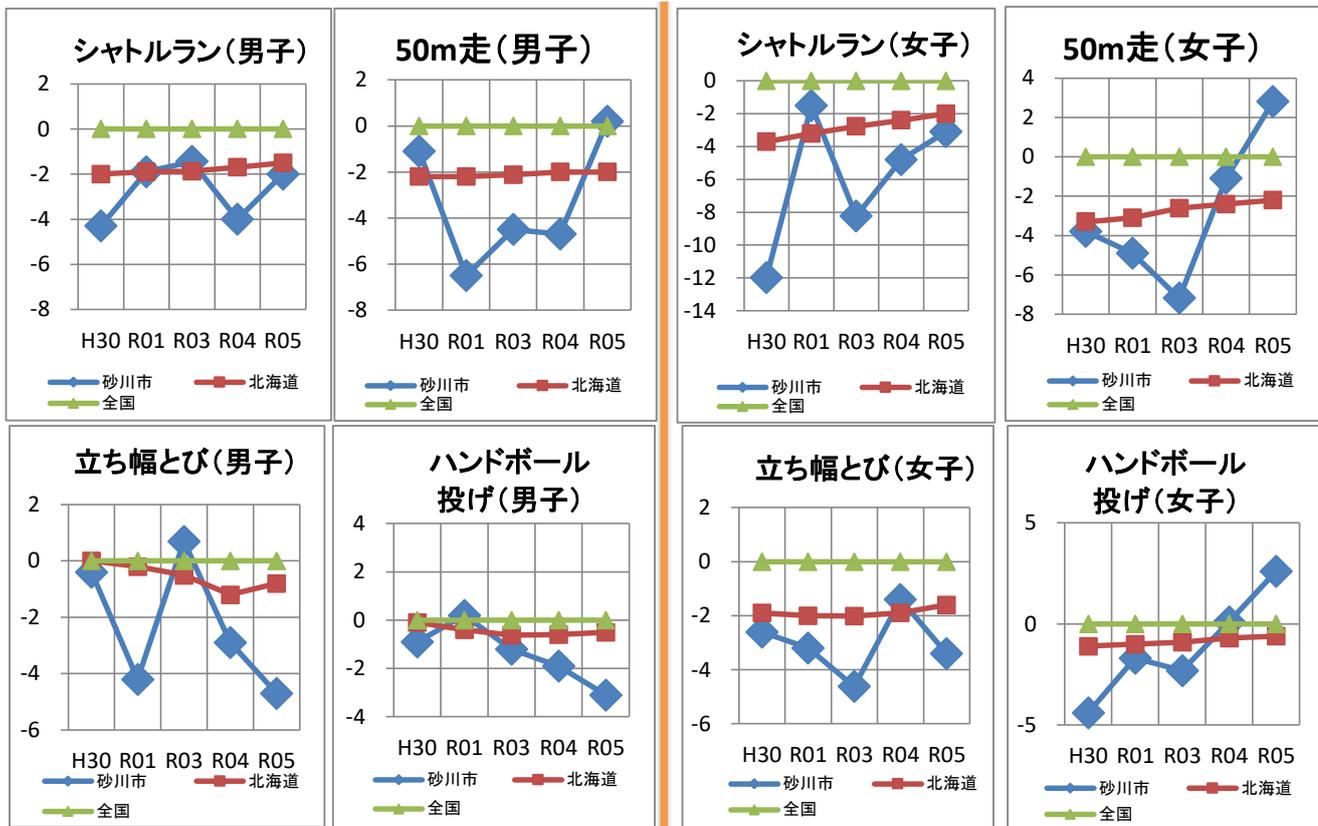


2 市内生徒の体力総合評価【5段階評価：経年推移】

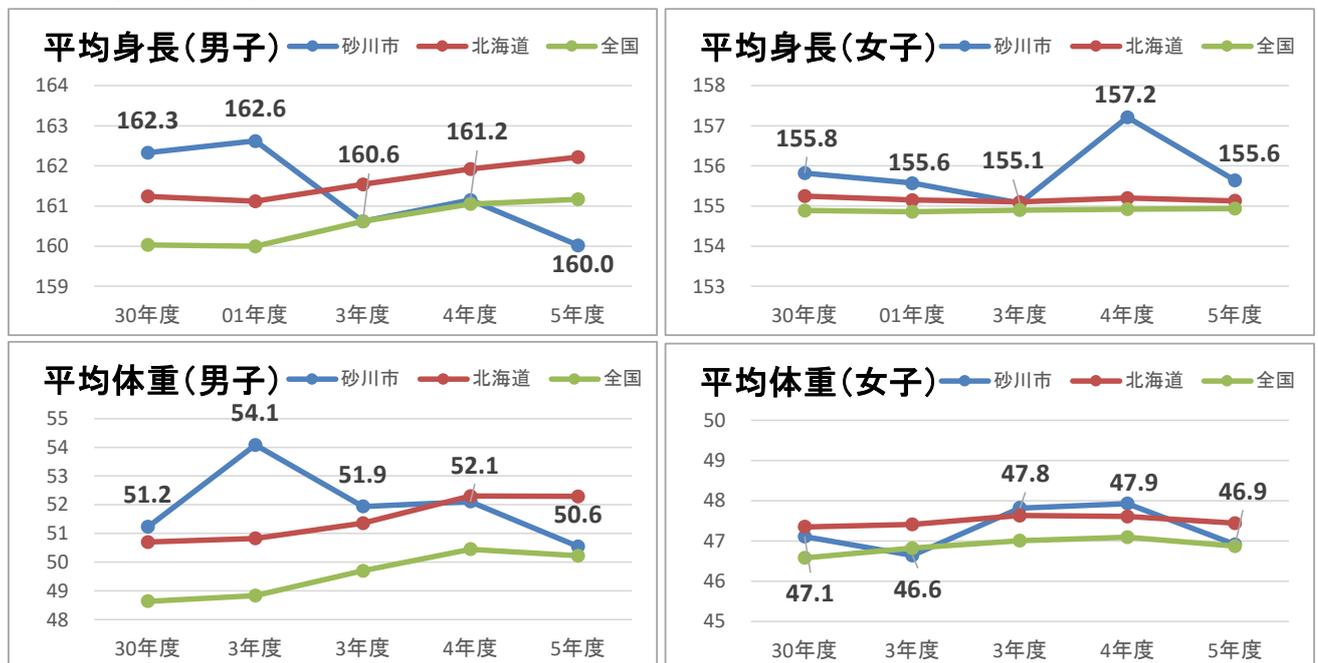


3 各種目の状況【全国を50とした時の偏差値(T得点)との差：経年推移】





4 体格等に関すること

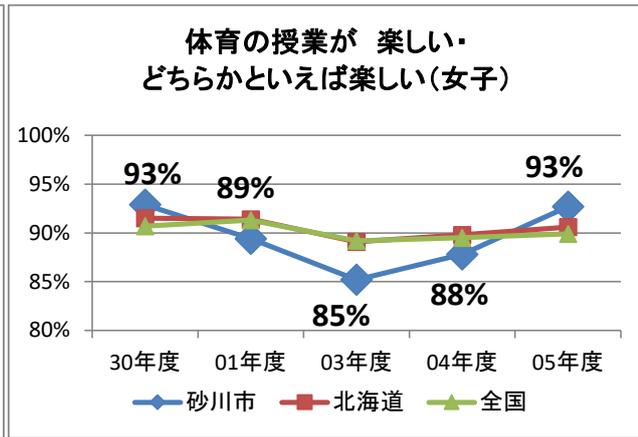
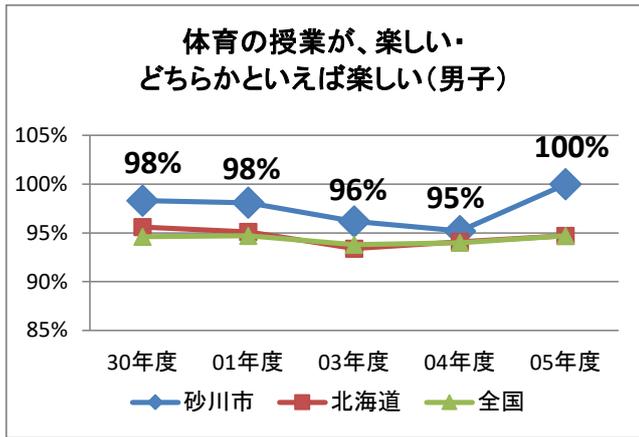


5 分析結果と今後に向けて

- 体力の合計点は、男女ともに全国平均を下回った。また、5段階評価では、男子はEの割合が上昇した反面、女子はE・Dの割合が減少し、Cの割合が増加する改善傾向が見られた。
- 男子については、「上体起こし」と「50m走」で全国平均を上回り、「反復横跳び」「シャトルラン」にも改善傾向が見られた。しかし、他の4種目は全国平均との差が広がる課題が見られる。
- 女子については、「握力」「50m走」「ハンドボール投げ」が全国平均を上回り、「上体起こし」「反復横跳び」「シャトルラン」も数値が上昇するなど、全体的な改善傾向が見られている。
- 全体的には、柔軟性が必要となる「長座体前屈」と、跳躍能力が必要となる「立ち幅とび」に課題が見られることから、これらを意識した運動を意図的・計画的に体育の授業などにおいて取り扱っていく必要がある。

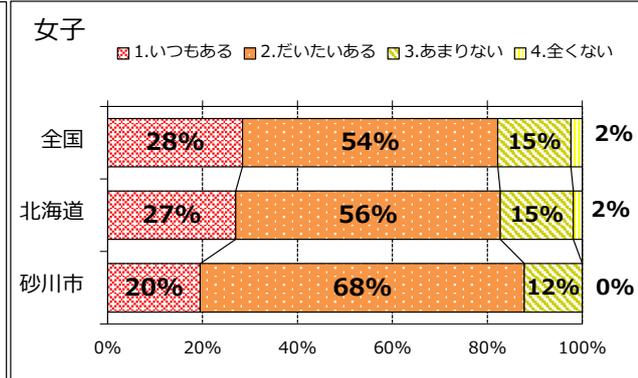
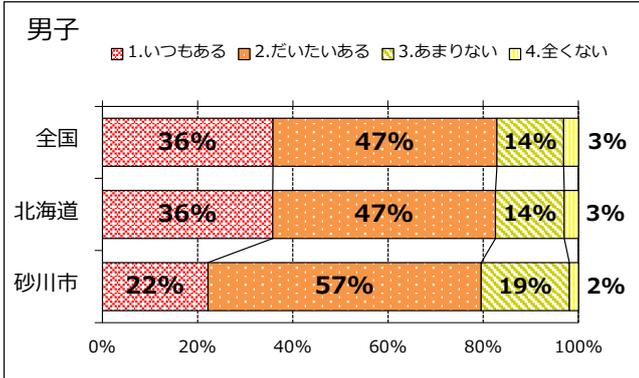
小学生・質問紙【学校数5校：95名（男子54名、女子41名）】

1 体育の授業に関する意識について

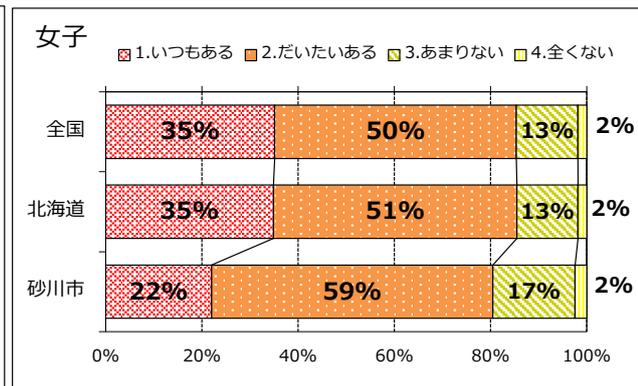
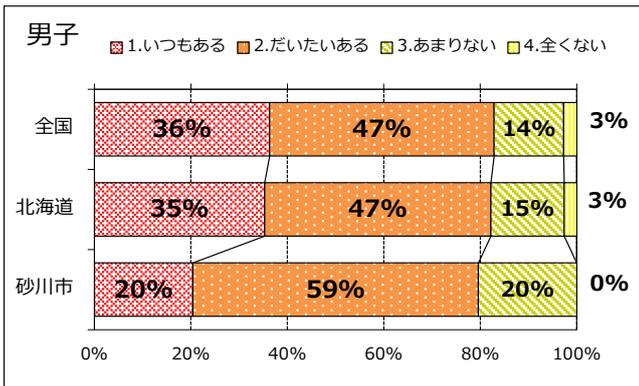


2 体育の授業における「主体的、対話的で深い学び」の実現について

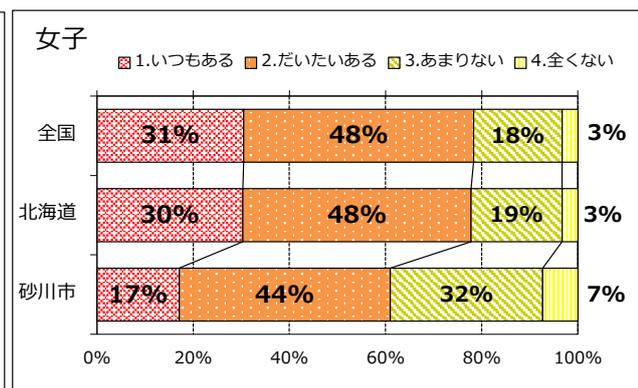
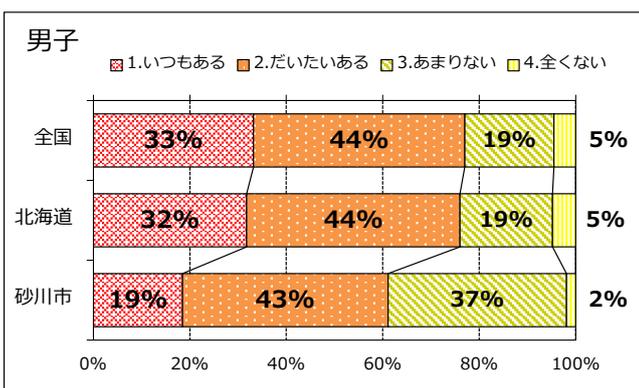
(1) 目標(ねらい・めあて)を意識して学習することで、「できたり、わかったり」することがある



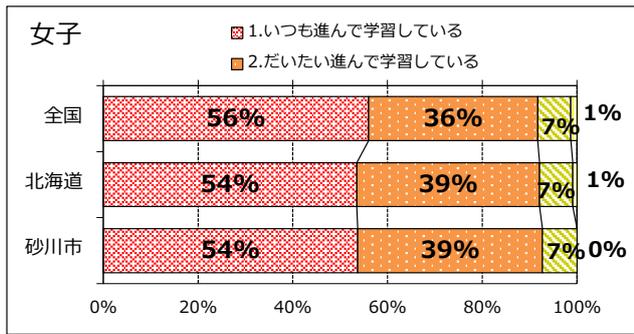
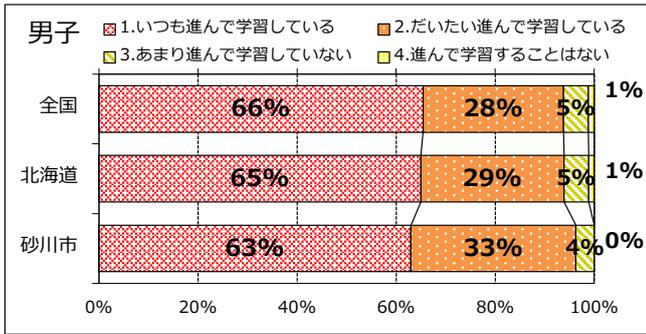
(2) 友達と助け合ったり、教え合ったりして学習することで、「できたり、わかったり」することがある



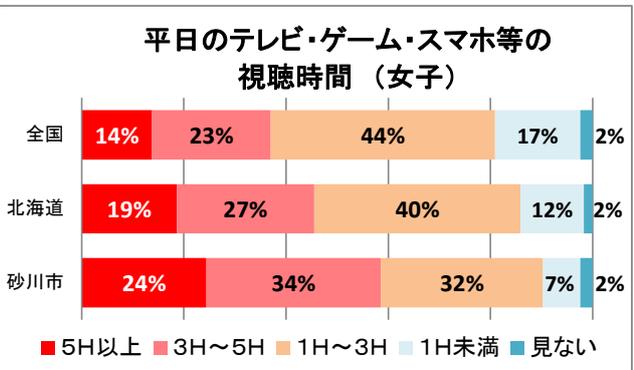
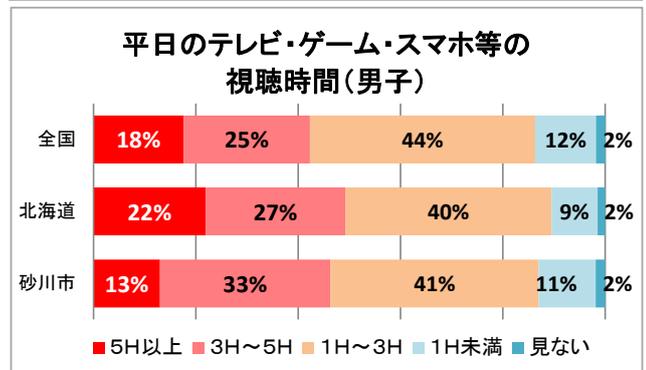
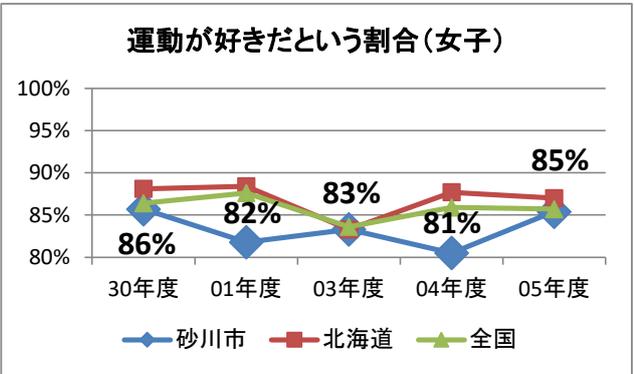
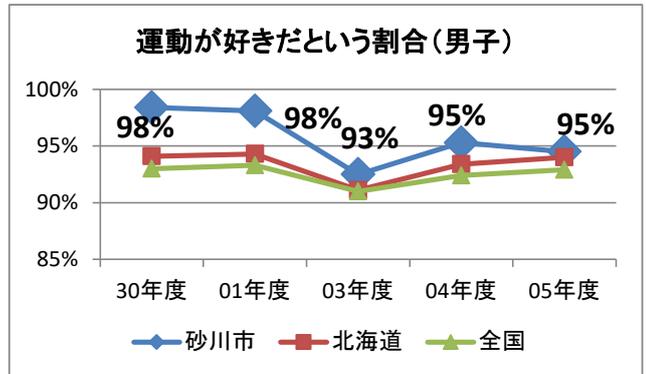
(3) 授業の最後に、その授業で学習したことを振り返る活動があることで、「できたり、わかったり」することがある



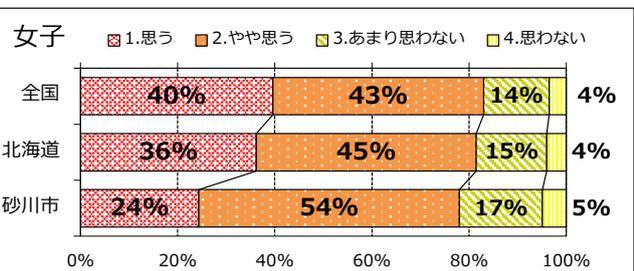
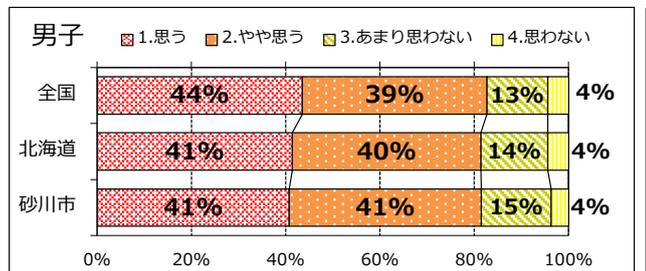
3 体育の授業における学習意欲について



4 からだを動かす遊びを含めた運動やスポーツ、生活習慣の状況について



保健の授業で学習した運動、食事、休養およびすいみに気をつけた生活を送れていると思う

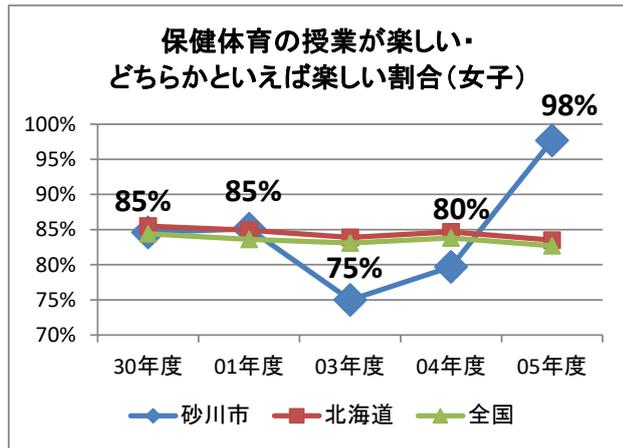
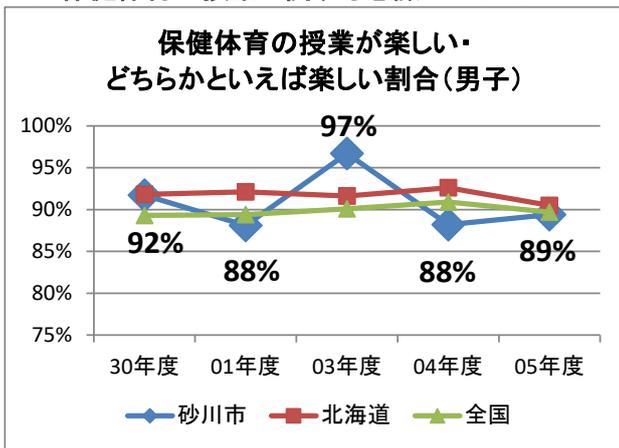


5 分析結果と今後に向けて

- 体育の授業についての、「楽しい」という回答が、男女ともに全国平均を上回っている。また、体育の授業における学習意欲についても全国・全道と同程度、または上回る傾向が見られている。体育における「主体的、対話的で深い学び」を実現する授業改善の視点からは、「振り返り」の場面が全国平均を下回っていることから、1単位時間や単元の終末において、体の動かし方や身に付いた技能を省察させ、成長を実感させる取組を充実させていくことが求められる。
- 「運動が好き」という割合は、男子は全国平均を若干上回り、女子は同程度となっている。また、学習したことを自身の日常に活かし、規則正しい生活を送ろうとする意識については、男子は全国・全道と同程度であり、女子は下回る結果であった。平日のテレビ・ゲーム・スマホ等を視聴する時間は、特に女子の長時間化が顕著となっており、3時間以上の割合が全国平均から20%以上となっていることから、学校と家庭が連携した生活習慣の改善を図る取組が必要である。

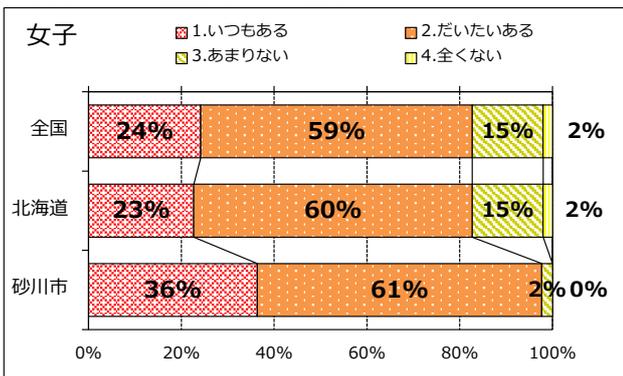
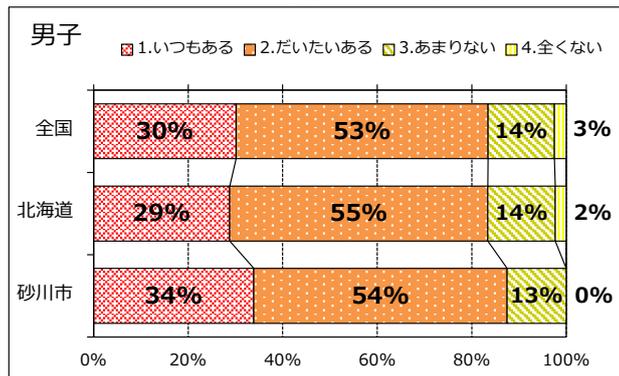
中学生・質問紙【学校数1校：101名（男子57名、女子44名）】

1 保健体育の授業に関する意識について

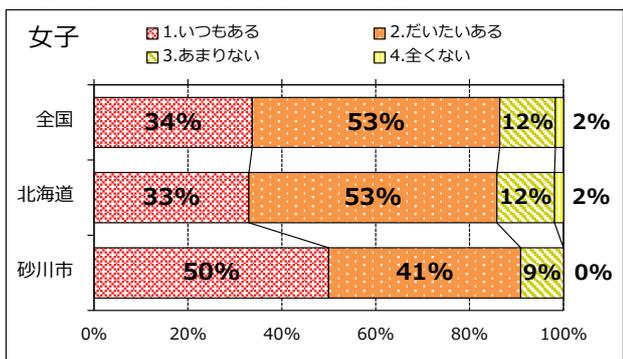
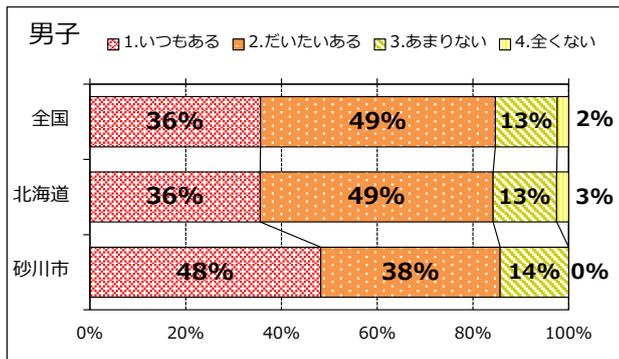


2 体育の授業における「主体的、対話的で深い学び」の実現について

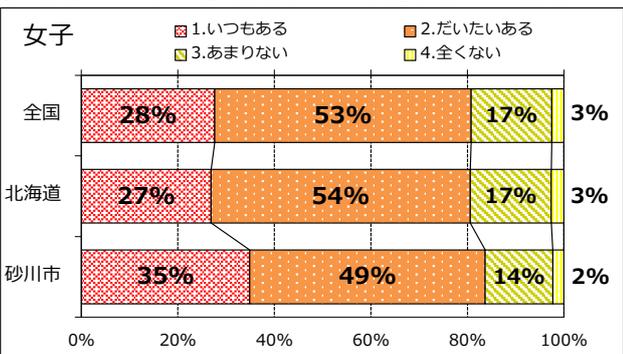
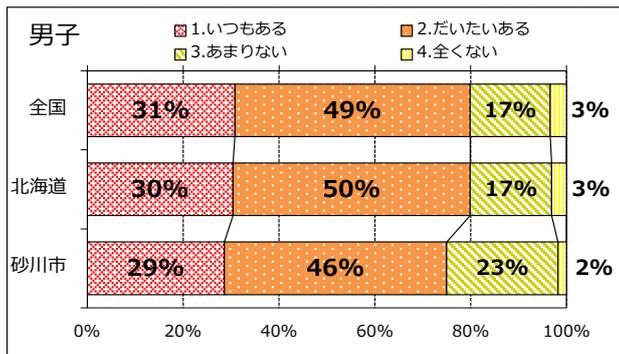
(1) 目標(ねらい・めあて)を意識して学習することで、「できたり、わかったり」することがある



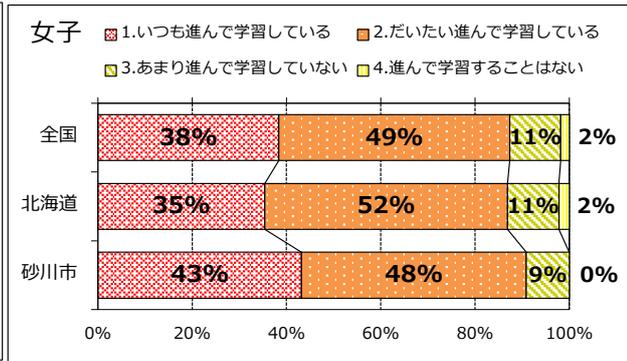
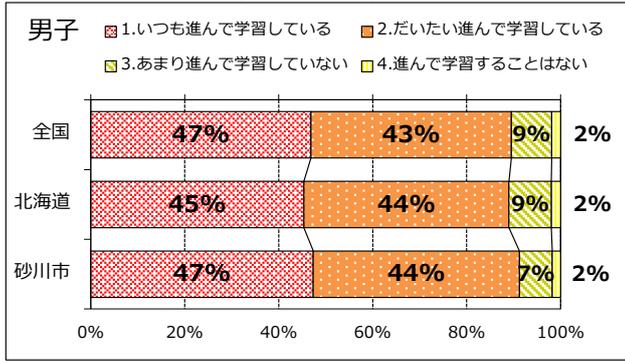
(2) 友達と助け合ったり、教え合ったりして学習することで、「できたり、わかったり」することがある



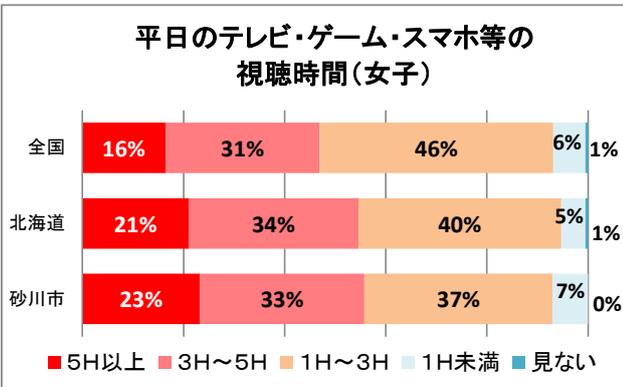
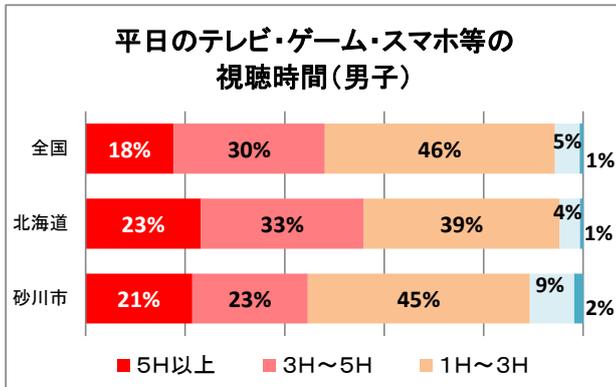
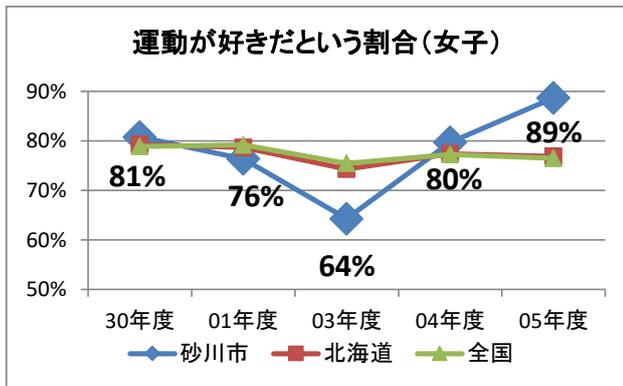
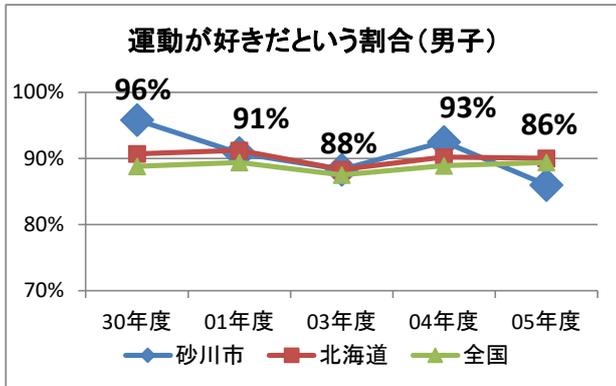
(3) 授業の最後に、その授業で学習したことを振り返る活動があることで、「できたり、わかったり」することがある



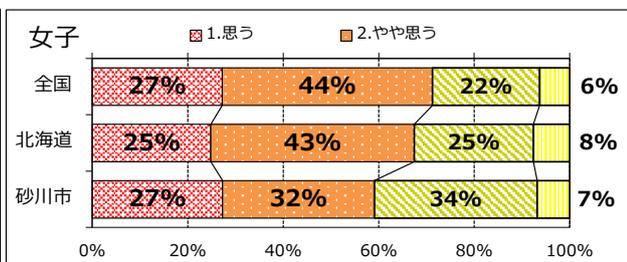
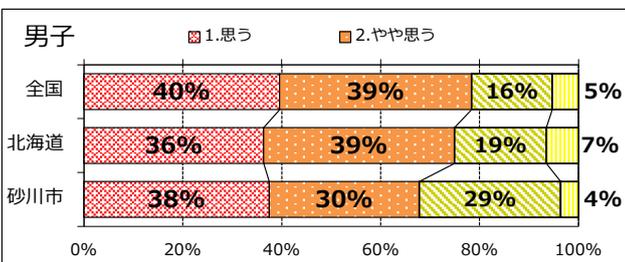
3 保健体育の授業における学習意欲について



4 運動やスポーツ、生活習慣の状況について



保健の授業で学習した運動、食事、休養及び睡眠に気をつけた生活を送れていると思う



5 分析結果と今後に向けて

- 保健体育の授業についての、「楽しい」という回答は、男子は全国・全道平均と同程度であるが、女子は大幅に上回っており、授業に対する高い満足感を得ていることが分かる。それは、体育の授業における学習意欲からも見取ることができ、男女ともに進んで学習している割合が全国平均を上回っている。この背景には、保健体育の授業改善が進んでいることがあると考えられ、今後も、課題提示、協働的な学び、振り返りといった活動を適切に行う授業づくりが求められる。
- 「運動が好き」という割合は、男子は全国・全道平均をやや下回るものの、女子は全国平均を大きく上回っている。ただ、学習したことを日常生活に活かし、基本的な生活習慣の定着を図ろうとする意識にまでは十分至っていない傾向が見られる。
一方、平日のテレビ・ゲーム・スマホ等を視聴する時間は、男子は全国・全道平均よりも短い時間となっているが、女子は長時間使用している割合が上回っており、長時間化の傾向が見られることから、学校と家庭が連携した生活習慣の改善を図る取組が必要である。